

えちぜん 議会たより

vol.
73
2023.8.1



越前町

人と技
海土里織りなす
快適なまち



みんなの願いがかないますように（あさひ保育所）

目次

議長・副議長あいさつ・議会構成	2P～3P
第2回臨時会・6月定例会報告	4P～6P
議員7人が一般質問	7P～13P
現場踏査	14P
朝日小学校議会見学	14P
町議会広報研修会	15P
自治監査功労受賞	15P
出欠状況・表紙の写真	15P
がんばってます！・編集後記	16P



大きく育ったね（野菜の収穫）

越前町議会構成

議長

佐々木一郎

副議長

藤野 菊信

常任委員会・特別委員会委員

◎：委員長 ○：副委員長

総務文教厚生常任委員会

◎伊部 良美	○小松 高宏
北島 忠幸	木村 繁
佐々木一郎	中西 清
石田 和朗	

産業土木常任委員会

◎米沢 康彦	○高田 浩樹
笠原 秀樹	藤野 菊信
長谷川眞恵	吉田 憲行

議会運営委員会

◎木村 繁	○高田 浩樹
北島 忠幸	伊部 良美
米沢 康彦	長谷川眞恵

議会広報特別委員会

◎長谷川眞恵	○中西 清
木村 繁	米沢 康彦
藤野 菊信	高田 浩樹
小松 高宏	



議会広報特別委員

議会活性化特別委員会(全議員)

◎小松 高宏	○吉田 憲行
--------	--------

原子力発電安全対策特別委員会(全議員)

◎伊部 良美	○中西 清
--------	-------

監査委員

監査委員(議会議員選出)

高田 浩樹

一部事務組合・広域連合議会議員

代：代表者 副：組合議会副議長

鯖江・丹生消防組合議会議員

代 吉田 憲行	笠原 秀樹
伊部 良美	小松 高宏

鯖江広域衛生施設組合議会議員

代 高田 浩樹	伊部 良美
藤野 菊信	石田 和朗

福井県丹南広域組合議会議員

代 佐々木一郎	副 北島 忠幸
木村 繁	米沢 康彦

公立丹南病院組合議会議員

代 笠原 秀樹	中西 清
長谷川眞恵	吉田 憲行

後期高齢者医療広域連合議会議員

佐々木一郎



各種協議会等議会選出委員

総合振興計画審議会委員

高田 浩樹

地域公共交通活性化協議会委員

吉田 憲行

児童館運営委員会委員

長谷川眞恵

民生委員推薦会委員

中西 清

国民健康保険及び介護保険運営協議会委員

藤野 菊信	中西 清
長谷川眞恵	石田 和朗

健康づくり推進協議会委員

米沢 康彦	中西 清
-------	------

社会福祉協議会理事

佐々木一郎

越前町国民健康保険織田病院運営協議会委員

佐々木一郎

泰澄の杜運営協議会委員

笠原 秀樹	中西 清
-------	------

道の駅「パークイン丹生ヶ丘」運営協議会委員

高田 浩樹	吉田 憲行
-------	-------

道の駅「越前」運営委員会委員

吉田 憲行	小松 高宏
-------	-------

越前がにミュージアムマーケット棟運営協議会委員

中西 清	長谷川眞恵
------	-------

オタイコ・ヒルズ運営協議会委員

笠原 秀樹	石田 和朗
-------	-------

悠久ロマンの杜運営協議会委員

佐々木一郎	藤野 菊信
-------	-------

農林水産物等流通促進施設「おもいでな」運営協議会委員

米沢 康彦	高田 浩樹
-------	-------

都市計画審議会委員

米沢 康彦	高田 浩樹
長谷川眞恵	吉田 憲行

空き家等対策協議会委員

小松 高宏

学校給食センター運営委員会委員

伊部 良美	高田 浩樹
-------	-------

議長・副議長 就任のごあいさつ



越前町議会議長
佐々木 一郎



越前町議会副議長
藤野 菊信

町民の皆さまには、日頃から町議会に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

この度、議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任させていただきました。誠に身に余る光栄であり、心より感謝いたしますとともに、その重責を痛感し、身の引き締まる思いでございます。町民の信頼と負託に応えるべく、緊張感を持って、さらなる町政の発展と町民福祉の向上、そして、公正かつ円滑な議会運営のため、全力で職責を全うする覚悟でございます。

さて、町民生活に大きな影響を及ぼしてきました新型コロナウイルス感染症は、「2類相当」から季節性インフルエンザと同等の「5類感染症」になり、POSTコロナという新しい時代にふさわしい、町民の暮らしの安心を築いていかなくてはなりません。

町議会といたしましては、町民の皆さまが、家庭や学校、職場、地域などで、一日も早く日常を取り戻すことができるよう、今後も、さまざまな課題の解決に努めてまいります。

そして、「和を以て貴しとなす。」を旨として、議会の運営を図って参りますので、町民の皆さまの、さらなるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のごあいさつといたします。



第2回臨時会

会期/5月18日

ふるさと納税推進事業

1,610万円

全国的なふるさと納税の需要の高まりとポータルサイトのリニューアルや新たなサイトの追加などにより、ふるさと納税寄附額が増加したことから、返礼品などに要する委託料を追加計上する。

幸若文化情報センター 電気設備工事

142万4千円

電気設備の高圧ケーブルが劣化したため、更新工事に要する費用を計上する。

子育て世帯生活支援特別給付金

800万円

国の補助を受け、物価高騰等に直面し、家計が悪化している低所得の子育て世帯に対し、児童1人につき5万円を給付する。

条例

越前町条例の一部改正

森林環境税が令和6年度から導入されることに伴う個人住民税の規定の整備のほか、軽自動車税に電動キックボードを区分として明確化する。

令和5年度補正予算

看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備

3,442万円

県の補助を受け、越前町型サービスピッキ高年齢向け住宅に併設する看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備に要する費用の一部を補助する。

新型コロナウイルスワクチン接種

3,594万3千円

国の補助を受け、特例臨時接種の実施期間が令和6年3月末まで延長されたことに伴い、65歳以上の高齢者や基礎疾患がある人、医療・福祉施設従事者に対する新型コロナウイルスワクチンの接種に要する委託料等を計上する。また、5歳以上の追加接種が可能な人への接種を9月以降に予定している。

営農省力化を支援

446万9千円

県の補助を受け、営農および農地の維持管理作業を省力化できる機械(無人用植機)の導入費用の一部を補助する。



越前町国民健康保険条例の一部改正

令和5年度税制改正に伴い、所要の改正を行う。

原子力発電施設等立地地域の指定による町税の特例に関する条例の一部改正

原子力発電施設等立地地域(越前地区)における固定資産税の不均一課税措置の適用期間を2年間延長する。

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく町税の特例に関する条例の一部改正

地域経済牽引事業の促進区域における固定資産税の課税免除措置の適用期間を令和7年3月31日まで延長する。

補正予算

住民税非課税世帯等臨時特別給付金

5,198万7千円

国の補助を受け、物価高騰等により家計への影響が大きい低所得世帯、住民税非課税世帯の生活を支援するため、1世帯あたり3万円を給付する。

被災林道の復旧

2,100万円

県の補助を受け、災害により被災した林道の路面や路肩の復旧に係る工事請負費を計上する。

- 林道水無線
林道奥引谷線
林道城山線
林道梅浦線
林道赤井谷線



▲林道赤井谷線

農業用水路等の改修

2,470万円

県の補助を受け、農業生産基盤である用水路等の小規模な整備に係る工事請負費を計上する。

人事

越前町監査委員の選任について

次の方の、選任について、全会一致で同意した。
大橋 直之 氏(田中)

第2回臨時会に提出された議案等

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 議決の結果. Contains 12 items including budget amendments and committee appointments.

条例

越前町印鑑条例及び越前町手数料徴収条例の一部改正

マイナンバーカードに記録していた電子証明書をスマートフォンにも搭載できるようになったことにより、スマートフォンで「コンビニ交付サービス」を受け取ることが出来るよう、印鑑条例の一部を改正する。また、スマートフォンを利用する場合においても、コンビニ交付サービス手数料の特例を適用するため、手数料徴収条例の一部を併せて改正する。



寄附

負担付きの寄附の受納

越前町と公益社団法人地域医療振興協会の間で締結した越前町型サービスピッキ高年齢向け住宅の整備に向けた覚書に基づき、同協会より、同協会が建設する建物を受納する。

越前地区ケーブルテレビ施設OLTカード購入

3,000万円

県の補助を受け、北陸新幹線開業後の観光客のニーズに合わせて、宿泊施設の改修費用の一部を補助する。

町営住宅の改修

875万円

国の補助を受け、越前町公営住宅等長寿命化計画に基づき、朝日団地は屋外階段スロープ設置を、西多古団地は外壁改修を行う。

物品売買契約

小型ロータリ除雪車(1.0m級)購入

契約金額 1,358万5千円
契約の相手方 岩崎工業(株)



6月定例会

会期/6月7日~12日

条例

越前町印鑑条例及び越前町手数料徴収条例の一部改正

マイナンバーカードに記録していた電子証明書をスマートフォンにも搭載できるようになったことにより、スマートフォンで「コンビニ交付サービス」を受け取ることが出来るよう、印鑑条例の一部を改正する。また、スマートフォンを利用する場合においても、コンビニ交付サービス手数料の特例を適用するため、手数料徴収条例の一部を併せて改正する。



寄附

負担付きの寄附の受納

越前町と公益社団法人地域医療振興協会の間で締結した越前町型サービスピッキ高年齢向け住宅の整備に向けた覚書に基づき、同協会より、同協会が建設する建物を受納する。

人事

次の方々の任命・選任について、全会一致で同意した。

農業委員会委員

- 月田 善尋 氏(上川去)
齊藤 正美 氏(佐々生)
上野 三千男 氏(氣比庄)
小川 紀代隆 氏(乙坂)
吉田 義広 氏(金谷)
古崎 新治 氏(下糸生)
木村 健吾 氏(古屋)
竹内 俊治 氏(江波)
武藤 明彦 氏(櫻津)
山田 辰雄 氏(円満)
宮本 修 氏(梅浦)
川嶋 講三 氏(茂原)
小山 壽一 氏(織田)
田中 久美 氏(平等)
伊部 英一 氏(細野)
高田 浩樹 氏(氣比庄)

監査委員(議会選出)

- 高田 浩樹 氏(氣比庄)

こんなことを審議しました。

6月定例会に提出された議案等

議案番号	件名	議決の結果
報告第2号	令和4年度越前町一般会計繰越明許費繰越計算書	報告のみ
報告第3号	令和4年度越前町集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書	//
報告第4号	令和4年度越前町温泉事業特別会計繰越明許費繰越計算書	//
報告第5号	令和4年度越前町上水道事業会計予算繰越計算書	//
議案第33号	越前町印鑑条例及び越前町手数料徴収条例の一部改正について	全会一致可決
議案第34号	負担付きの寄附の受納について	//
議案第35号	令和5年度越前町一般会計補正予算(第4号)	//
議案第36号	令和5年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第37号	令和5年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第38号	令和5年度越前町集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第39号	令和5年度越前町上水道事業会計補正予算(第1号)	//
議案第40号	令和5年度越前町国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号)	//
議案第41号	令和5年度 小型ロータリ除雪車(1.0m級)物品売買契約について	//
議案第42号	令和5年度 越前地区ケーブルテレビ施設 OLT カード物品売買契約について	//
同意第8号	越前町農業委員会委員の任命について	全会一致同意
同意第9号	越前町農業委員会委員の任命について	//
同意第10号	越前町農業委員会委員の任命について	//
同意第11号	越前町農業委員会委員の任命について	//
同意第12号	越前町農業委員会委員の任命について	//
同意第13号	越前町農業委員会委員の任命について	//
同意第14号	越前町農業委員会委員の任命について	//
同意第15号	越前町農業委員会委員の任命について	//
同意第16号	越前町農業委員会委員の任命について	//
同意第17号	越前町農業委員会委員の任命について	//
同意第18号	越前町農業委員会委員の任命について	//
同意第19号	越前町農業委員会委員の任命について	//
同意第20号	越前町農業委員会委員の任命について	//
同意第21号	越前町農業委員会委員の任命について	//
同意第22号	越前町農業委員会委員の任命について	//
同意第23号	越前町監査委員の選任について	//
請願第1号	保育士配置の最低基準の引き上げと保育予算の大幅な増額を求める意見書の採択を求める請願	閉会中の継続審査

いっぱん質問

一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



映像 QRコード 議事録 QRコード

高田 浩樹 議員

越前町の介護に関する取り組みについて

家族介護者について

高田

要支援・要介護者の一人暮らし、老老介護、ヤングケアラーの家族介護者の本町における実態と取り組みについて伺う。

民生理事

本町で、65歳以上がいる世帯は4,733世帯(総世帯数7,264世帯)であり、そのうち高齢者単身世帯は1,263世帯、高齢者夫婦世帯は951世帯である。

要支援・要介護の認定を受けている高齢者単身世帯数は、132世帯、高齢者夫婦世帯数は、114世帯である。今後、これらの世帯は増加していくと予想される。

関連する取り組みとしては、「地域ふれあいサロン事業」「給食サービス事業」「緊急通報装置の無償設置」などがあり、昨年度より、ちょっとした家事援助や居場所づくりなど住民互助による体制の構築を図っている。現時点で、ヤングケアラーに関する相談ケースはない。

介護用品支給事業について

高田

本町の「要介護老人介護用品支給事業」では、要介護1以上の方を対象に、介護用品購入費の一部の助成を行っている。

この事業で購入できる介護用品は、紙おむつと防水シートであるが、要介護状態といっても様々なケースがあることから、購入可能な介護用品の幅を広げていく必要があると考えるが、見解を伺う。

町長

要介護状態によって必要な介護用品は、様々であると考えます。他の介護用品に対するニーズがあれば、利用者およびその家族の希望に沿うよう、全国自治体の取り組みを参考に検討していきたい。

在宅介護サービスの現状について

高田

本町の在宅介護サービスの需給の現状と対策について伺う。

民生理事

近年における在宅介護サービス利用者の計画値と実績値との比較では、見込み通りではあるが、越前地区にサービス提供を行う事業所が少ないといった意見がある。

介護人材の確保について

高田

介護人材の確保に関する本町の見解や取り組みについて伺う。

民生理事

現在、介護業界は慢性的な人材不足であり、国や県でも様々な取り組みが行われている。

外国人労働者の受け入れもその一つであり、本町としても必要であると考えている。

本町での取り組みとしては、介護人材の教育に関連する事業、県外からの人材確保に関連する事業、高齢者の労働力活用に関する事業などの支援がある。

介護に関する今後の展望

高田

本町では、85歳以上の人口が2040年あたりピークを迎えるが、そのことを踏まえ、介護に関する今後の展望について伺う。

町長

本町の2040年の人口推計では、住民全体における65歳以上の高齢者が45%、85歳以上が13%となり、要支援・要介護者の増加、独居高齢者の増加が予想される。

一方、生産年齢人口の減少により、介護職を含め全ての職種において人材不足が大きな問題となってくる。町の対策として、介護保険サービスによる介護予防の取り組みの強化、地域住民が協力して行う介護予防の実施、認知症の早期発見・早期対応、認知症になっても地域で暮らせる仕組みづくりを推進していきたい。

高田

直接的な介護予防の取り組みとともに、生涯スポーツ、文化活動、地域活動、あらゆる社会参加に関することなどの取り組みにより、いつまでも活躍できるまちづくりを推進していくという視点も大切であると考える。



一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



中西 清 議員

いっぱん質問

一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



吉田 憲行 議員



越前町の特産品について「未来に残すべき財産」

町の園芸振興作物は

吉田

越前町での特産品としての園芸振興作物は。

産業理事

町における園芸振興作物の特産品は、福井県農業協同組合の地域振興作物である水仙、筍、胡瓜、レタス、スイートコーンの5品目である。

吉田

水仙・筍に絞って伺う。筍の採れる山の管理面積、水仙群生地での管理面積、出荷量の現状は。

産業理事

筍の管理面積は、約29ha、水仙の栽培面積は、約39haで、面積のほとんどが露地栽培であり、天候不順や獣害、生産者の高齢化などにより、出荷量、販売額は減少しており深刻な状況である。

吉田

筍は、宮崎地区の伝統特産品、水仙は、福井市、南越前町の海岸沿いでも群生しているが、越前地区の水仙は格別である。新たな特産品も大事だが、越前町の風土に合ったこれらの特産品は後世に残すべきである。町長の所見を伺う。



▲越前海岸の水仙畑

町長

筍農家の高齢化により今後管理できない竹林が増加する中、人材確保が課題であり、今後、経営の継続に対する支援や外部からの新規就農者の募集などを検討する。

次に、水仙は、越前水仙として、町花、県花であり、越前が同じ様に本町の冬を代表する観光資源である。また、越前海岸の水仙畑は文化庁の重要な文化的景観にも指定され、県や関係機関と連携しながら、保存継承に努める。そのため、本年度水仙農家への意向調査を行い、その結果を基に後継者育成や外部委託の促進など、新たな人的支援策を検討していきたい。

越前町の公園の現状について「安全・安心な憩いの場の確保」

憩いの場である公園の現状は

吉田

現在、越前町内に公園と呼ばれる施設の数は。

総務理事

本町が管理している公園数は、都市公園15か所、農村公園等18か所、観光関係の公園14か所、分譲団地内公園20か所、合計67か所で、地区別では、朝日地区27か所、宮崎地区13か所、越前地区15か所、織田地区12か所である。

吉田

公園の管理や清掃、遊具等の安全管理はどのように行っているのか。

総務理事

町が所管する公園の草刈りや清掃等の維持管理は、町や指定管理者、各区が行っている。また、遊具等の安全管理については、都市公園や農村公園等のそれぞれの法律等に基づいて行い、そのほかの町が整備した住宅団地などに付属する小規模な公園は、定期的な巡回や専門業者による遊具等の調査や点検委託を行い、破損や劣化が著しく危険な遊具等を確認した時は、修繕等を行うなど安全を考慮し迅速に対応している。



▲春日団地公園

吉田

すべての公園に表示看板を取り付けられないのか。

総務理事

現状、管理主体が明確に表示されている公園は少ない状況で、表示看板を設置すれば、利用者にとって分かりやすく、安心して公園を利用できる。まずは、町のホームページで、公園の名称や担当部署等について掲示することから着手し、利用者への周知を図りたいと考える。これからの公園管理は、各区と町がこれまで以上に連携を密にし、取り組んでいく。

子育て支援策について

町独自の子育て支援策とは

中西

町独自の支援策の特徴的な取組と、支援策全体に係る経費と補助金の充当額の実績について伺う。

町長

経済的支援として、学校給食費無償化の拡充をはじめ、高校3年生までのこども医療費を完全無償化した。そのほか、0歳から2歳児までの保育料を2人目は半額、3人目以降は無料とした。

また、町内で子どもが生まれた保護者に対し、第1子、第2子については3万円、第3子以降は30万円の出産育児祝い金の支給、チャイルドシートを購入した場合、1万円を上限に購入費用の3分の1を助成している。

また、今年度から新規事業として0歳児を養育する家庭に対し、生後1歳の誕生日まで、毎月4,000円分の「えちぜんっこすくすく応援券」を発行し、おむつや授乳関連用品の購入を助成する育児用品支給事業を行っている。子育てに関する相談支援として、産後1年未満の母親を対象に指定する医療機関や助産所での産後ケアに加え、今年度から集団型、訪問型の産後ケアを拡充、そのほか、子育て支援アプリ「えちぜんっこアプリ」とおして、これ

から必要になる届出や手続の情報、子どもの健診日程や教室等の情報を発信するとともに、子育てに関する様々な悩みごとに対して、携帯電話からオンラインでの相談も行っている。

また今年度から、アプリから母子健康手帳の交付や育児教室の予約ができるなど、町独自の子育て支援策は県内市町の中でも充実しており、子育て世帯の家庭から好評である。

次に、子育て支援全体に係る経費および交付金等の充当額については、令和元年度の支出額15億5,861万円に対して、財源は子ども・子育て交付金等1億4,620万円、国県補助金5億4,649万円を充当、令和2年度支出額は15億5,809万円、財源は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等5,928万円、国県補助金5億9,865万円を充当、令和3年度支出額は16億9,270万円、財源は、新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金等5,376万円、国県補助金8億9,244万円を充当している。

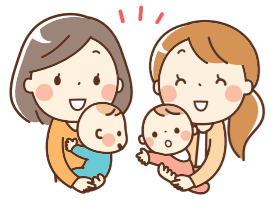
中西

岸田首相が異次元の少子化対策試案を発表し、政権の重要な課題として検討が行われており、町民、特に子育て世代の期待が高まっているなか、広報えちぜんなど、担当課から個別に周知されているが、町の子育て支援全体について広報えちぜんや子育て支援情報誌に特集を組んではどうか。

また、ホームページに掲載し、Uターナー者および転入希望者にPRしてはどうか。

町長

町の子育て支援全体の特集については、最新の子育て支援制度に特化した子育て支援情報誌を発行している。そのほかにも広報えちぜんや町のホームページで、子育て支援に関するタイムリーな情報を伝えている。今後とも引き続き内容の充実を図るとともに、町内の子育て世帯、Uターナー者および転入希望者に向け、分かりやすい最新の情報発信に努めていく。



中西

就学援助費について、援助対象範囲、申請手続きの流れ、支給時期、方法、申請を忘れた保護者に対してのアプローチについて伺う。

町長

対象者の所得制限の基準は、世帯人数や家族構成の年齢によって異なっており、学用品費や通学用品費、校外活動費、修学旅行費の一部および学校給食費が援助対象となっている。

また、申請手続きの流れは、申請書に必要事項を記入後、各学校または教育委員会へ提出し、教育委員会が審査、認定を行う。認定を受けた保護者には、各学期末の8月、12月、3月に振り込みしている。

制度の周知漏れがないよう広報えちぜん、町ホームページへの掲載に加え、町内小・中学校の全児童・生徒の保護者宛てに案内チラシを配布するとともに、前年度に認定を受けた保護者が未申請の場合は、申請の有無について電話で確認を取るなど対応している。町としては、すべての子どもたちが安心して学び過ごせるよう支援をしていく。



一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



長谷川 眞恵 議員



外出支援サービスの導入は
現在、町内に人工透析で医療行為を受けての方が65名いるが、人工透析を受けるためには定期的に設備のある病院へ自宅から通院しなければならぬ。同一世帯内で送迎してもらえばよいが、移動手段がない方もいる。仮に通院する手段としてタクシーを越前地区から鯖江市内の病院まで利用した場合、1回の通院で約1万2千円、週3回の通院の方だと1か月で14万4千円交通費がかかる。町として、外出支援サービス導入に向け、町長の所見を伺う。

町長 本町の人工透析患者数は、令和5年5月1日現在で、男性が46名、女性が19名の合計65名である。人工透析を受けている医療機関は、鯖江市が47名で72%と大部分を占め、越前市3名、福井市13名である。本町では、社会福祉協議会に委託し、おおむね65歳以上で、一般交通機関が利用困難な方を対象として、自宅と医療機関等の送迎に係る外出支援サービスを行っている。登録者は50名で、主に肢体不自由者や視覚障害者の方が利用されている。

しかし、送迎車両の運転手は、事業の協力者としてボランティア登録をされている方で、人工透析患者の送迎は、運転手の拘束時間が長いことや運転中に患者の体調が急変した場合の対応が難しいことから、行っていない。さらに近年、ボランティアの高齢化により、協力者の人材確保に苦心しており、今後も人工透析患者の通院支援を行うことは厳しい状況にある。

県内の状況は、あわら市が家用車や家用車以外での通院距離に応じて月単位で助成する人工透

析患者の支援事業を行っている。また、美浜町では、人工透析患者に限定した重度身体障害者等タクシー利用料金助成事業を実施している。

本町においても、自ら自動車を運転できない者で、身体障害者手帳1級または下肢、体幹もしくは視覚障害の2級の者につき、タクシー初乗り運賃分、年間24枚の助成券を発行する福祉タクシー事業を実施しており、人工透析患者がこの助成を受けている方が2名いる。人工透析を受けている方は1週間に2回〜3回通院し、1回につき、約4時間の治療を受けることで、体力的に大きな負担を伴う。また、通院の手段に関して、本人や家族の身体的負担や経済的負担が大きいものと認識しているが、人工透析を受けている方以外にも、治療を受けるために定期的な高い頻度で町外の医療機関に何らかの手段で通院している方がいる。

本町としては、人工透析以外の事由で通院している方々とのバランスを考慮しつつ、他市町の事例を参考に慎重に対応を検討していく。



長谷川 町において、福祉タクシー事業を実施されているが、タクシー初乗り運賃分600円の助成券を24枚発行している。2名しかこの事業の助成を受けている人工透析患者は利用していない。全員が活用してもらえない内容へと検討してほしい。

また、「コミュニティバスは町内のみを運行しているが、近隣市町で協同して機能性を発揮できる体制をつくられたらどうか。

いっぱん質問

一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



藤野 菊信 議員



今後の地域の憩いの場所づくりは



▲悠久ロマンの杜

藤野 越前地区で、キャンピングカー専用の駐車場やイベント開催時の駐車場の確保、冬の越波対策、春夏の砂嵐の被害防止のために、アクティブグラウンドの外周をアスファルトにして駐車場にできないか。また、地域の人たちがマイカーで訪れる観光客がここで少しの間でもリラックスできるところがあれば、本当の意味での道の駅だと思いい、日本の夕日百選にも選ばれているこの地域で、海や夕日を眺められる場所と足湯を楽しめる施設を造れないかと考える。また、織田地区では、悠久ロマン



▲織田文化歴史館

の杜の再生。春の花見、夏の星空、麓には虫の里、頂上からの景観は越前町内で一番だと思ふ。エボシ山の山頂付近を整備すれば、町民の憩いの場所として、また観光にも役立つ。

都市部では人との接触を避けて、家族や友人で悠久ロマンの杜と似たような施設に出かけて楽しんでるので、コテージやかやぶき屋根の宿泊施設についても町内外にPRし、やり方次第で十分採算が取れないのか。また、剣神社については、織田文化歴史館の正面に国宝の梵鐘を掲げ、織田信長公に関わる文獻や資料の展示、グッズ販売のほか、駐車場には、信長公の銅像や鐘堂を作り、観光客にSNSにアップしてPRして

今後の越前町内の施設と観光について

もらうてはどうか。越前地区には、冬場のカニシーズンに、多くの観光客が訪れている。その観光客が、シーズン以外にも、町内で宿泊し、買物をしてもらえれば、活気が出て、働く場所も増えてくると考えるが町長の所見を伺う。

町長 アクティブブランド運動場については、まずは越波対策、改修の具体策、財源の確保など検討を進める。また、憩いの場の整備については、アクティブハウス越前など、施設全体の老朽化も進んでいることから、老朽度合いを見極めながら検討していく。悠久ロマンの杜については、指定管理者である入尾・笠松活性化委員会から会員の高齢化等に伴い、今後の管理運営が困難との理由により、今年度末での指定の取消し申出があったところである。町としては、今後、新たな指定管理者の公募を行い、民間活力を導入して、施設全体にぎわいづくりに取り組んでいく。

次に、剣神社に関しては、織田地域コミュニティ運営委員会からの要望を受け、今年度、剣神社前町道の歩車道の段差解消や歩道の拡幅など、観光客等に配慮した道路を整備する。



藤野 町の財政が厳しいことは十分にわかっているが、勝山の恐竜博物館がオープンし、その後、福井駅前に恐竜のミニユメントの設置ができたように、越前町もじっくりと考え、町内にすてきな施設ができることに期待する。



一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



木村 繁 議員

地域活性化起業人制度は、3大都市圏に所在する企業等の社員が、地方自治体で地域独自の魅力や価値の向上につながる業務に従事することで、地域活性化の取組みを効果的、効率的に展開することができるといっても過言でない。企業にとっては社員の人材育成や地方との人的交流のみならず、企業における社会貢献を新しい形で果たすとともに、経験豊富なシニア人材の新たなライフス

町長 地域活性化起業人制度は、3大都市圏に所在する企業等の社員が、地方自治体で地域独自の魅力や価値の向上につながる業務に従事することで、地域活性化の取組みを効果的、効率的に展開することができるといっても過言でない。企業にとっては社員の人材育成や地方との人的交流のみならず、企業における社会貢献を新しい形で果たすとともに、経験豊富なシニア人材の新たなライフス



テッジの提供などにつながっている。派遣期間は6か月から3年の期間内で、国は起業人の受入れに要する地方自治体の経費に対して特別交付税の措置を講じるもので、県内市町の事例では、民間企業からの派遣社員が観光振興やDX推進事業の企画立案や研修などの業務に従事している。本町の様々な課題の解決に民間の知見などが必要な場合、その都度、県内外の専門家や企業に相談するように心がけており、民間企業からの人材の常時配置については、業務量や必要性などを踏まえながら適宜検討していく。

带状疱疹の実施状況と費用助成は

木村 带状疱疹は、80歳までに3人に1人が罹患し、費用は2回で4万円以上かかる。勝山市では、今年度50歳以上の市民を対象に、接種費用の補助事業に取り組んでいるが、町内の医療機関における予防接種の実施状況や費用の助成について、町長の所見を伺う。

町長 実施状況については、織田病院では令和3年から接種を始め、生ワクチンは29人、不活化ワクチンは37人が接種している。それ以外の医療機関では、接種実績は少なく、現時点で実績がない医療機関もある。接種費用は、全額自己負担で約4万円となる。ワクチンについては、現在、国の厚生科学審議会において予防接種法上の定期接種化に向けた検討が進められており、町としては、審議結果などを慎重に見極め、定期接種に位置づけられた際には、費用の助成など、町民の方々の負担が少ない体制を確保していきたい。

認知初期集中支援チームの実態と今後の方向性は

木村 医師らが高齢者宅を訪問する認知初期集中支援チームが、2019年に全市区町村に設置されているが、町における実態および今後の方向性について、町長の所見を伺う。

町長 本町は、平成30年に支援チームを設置し、丹生郡医師会の認知症サポート医や本町の地域包括支援センター職員などで編成している。対応困難な認知症の相談の場合に、支援チームが対応し、状況が改善するまで継続的に関わっている。認知症を伴う独り暮らし高齢者が増え、対応もますます困難になることが危惧されることから、認知症による生活危機の発生を未然に防ぐ早期事前的な対応に積極的に取り組んでいく。今後も支援チームの活動を進め、併せて認知症予防に関する知識の普及、物忘れ相談会の開催による認知症の早期発見、高齢者の閉じこもりを予防するため、身近に通うことができる場などを充実させ、歳を取っても安心して暮らせるまちを目指していく。

いっぱん質問

一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



笠原 秀樹 議員



町内小・中学校教員の勤務実態について

教員の勤務実態は？

笠原 文部科学省から、2022年の教員勤務実態調査結果が公表され、働き方改革の成果があったとする一方で、依然として長時間労働が常態化しているとして、今後中央教育審議会が教員の処遇改善に向けて議論するとしているが、町内の小・中学校の先生方の勤務実態について教育長に伺う。

教育長

現在、町内小・中学校における勤務時間は、休憩45分を含む8時間30分である。小学校教員は、授業の間の休み時間のほとんどを、児童のノートなどの確認や児童の指導などに費やし、児童下校後は校務の事務処理や翌日の授業の準備、保護者への対応連絡、校内会議などを行い、中学校教員は、それに加えて下校後の部活動があり、小・中学校ともに超過勤務を余儀なくされているのが現状である。

令和4年度の超過勤務の状況は、夏休み期間を除いた10か月について、過労死ラインとされる超過勤務が月80時間を超える教諭は、小学校が月平均0.2人で0.2%、中学校が月平均1人で1.8%程度である。



る。また、文部科学省の公立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する指針に基づく超過勤務時間の上限とされる月45時間を超える教諭については、小学校が月平均32.2人で39.6%、中学校で月平均37.7人で67.3%となっている。昨年、文部科学省が実施した教員勤務実態調査の数値と比較すると、超過勤務が月80時間を超える教諭については、小学校で14.0ポイント、中学校では19.3ポイント低く、また月45時間を超える教諭については、小学校では24.9ポイント、中学校では9.8ポイントと低い状況である。超過勤務が月45時間を超えた場合、各学校において勤務状況を把握し、改善への対策を県に報告するとともに、町の教育委員会から随時指導を行い、長時間労働が常態化することのないよう超過勤務の削減に努めている。

残業時間短縮へのさらなる対策は？

笠原

実態調査では、教諭の通常時における1日の平均勤務時間は、前回調査より小学校が30分減の10時間45分、中学校が31分減の11時間1分となり、さらに土日は1時間以上減っている。文部科学省が運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインを策定し、少なくとも土曜日曜のいずれかを休養日とすることが規定されたことが要因だとあるが、町のさらなる対策について伺う。

教育長

教員の負担軽減を図るため、会議や行事の時間短縮や内容の見直しを積極的に行うとともに、県校務支援システムや、タブレットの活用によりペーパーレス化を促進し、業務の効率化を図っている。さらに、講師、部活動指導員、学校運営支援員など教員OBの積極的な活用やスクーリングやセラシー等を配置し、教員のサポートを行っている。

長時間勤務の大きな要因の一つである中学校の部活動については、本年度から1週間の内、計3日間を部活動休養日としたが、各部活動の状況や地域の現状を十分踏まえ



▲授業の様子

笠原 本町の小・中学校が「ブラック職場」であってはならない。地域の大事な宝を預かっている学校で、先生方が気持ちよく勤務出来るよう期待する。

議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況

3月18日～6月12日

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退

月日	曜日	会 合 名	笠原 議長	佐々木 副議長	小松 議員	吉田 議員	石田 議員	長谷川 議員	中西 議員	高田 議員	藤野 議員	米沢 議員	伊部 議員	木村 議員	北島 議員
3	27	月 県後期高齢者医療広域連合議会定例会	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	月 議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	7	金 議会活性化特別委員会(タブレット研修)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
4	7	金 議会広報特別委員会	-	-	○	△	○	○	○	-	○	○	-	-	-
	17	月 議会広報特別委員会	-	-	○	×	○	○	○	-	○	○	-	-	-
	17	月 議会活性化特別委員会(タブレット研修)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	25	火 鯖江・丹生消防組合議会臨時会	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○
	28	金 議会運営委員会	○	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○
5	8	月 議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	月 議会活性化特別委員会(タブレット研修)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18	木 議会運営委員会	○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○
	18	木 第2回臨時会	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
	22	月 議会活性化特別委員会(タブレット研修)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	26	金 議会運営委員会	○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○
6	5	月 議員月例会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退

月日	曜日	会 合 名	佐々木 議長	藤野 副議長	小松 議員	吉田 議員	石田 議員	長谷川 議員	中西 議員	高田 議員	米沢 議員	伊部 議員	笠原 議長	木村 議員	北島 議員
6	7	水 6月定例会 本会議(1日目)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	木 6月定例会 本会議(2日目)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	木 総務文教厚生常任委員会	○	-	○	-	×	-	○	-	-	○	-	○	○
	9	金 6月定例会 全員協議会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	月 6月定例会 本会議(3日目)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	月 議会広報特別委員会	-	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-	○	-



乙坂線・乙坂神玉線 消雪施設整備

冬期間の道路網の交通の確保を図るため、消雪装置を整備する。

●事業費 850万円



6月
議会定例会
現場踏査
(6月9日)



西多古団地改修工事

越前町公営住宅等長寿命化計画に基づき、外壁を改修する。

●事業費 525万円



朝日小学校の2年生が
議会を見学されました!

6月16日に、朝日小学校の2年生52名が、生活科「まちたんけんに行こう」の学習として、越前町議会を訪れ、職員の説明を聞きながら議場などを見学されました。



全員協議会室の見学



議場内の見学

表紙の写真 あさひ保育所(気比庄)
上段写真 地域の方から大きな竹をいただき、今年も七夕の笹飾りをつけました。年長さんは文字にも興味を持ち、「さかあがりができるようになりましょう」とはしめるのがはやくなりますように」と自分で思いを込めて願い事を短冊に書きました。笹飾りや短冊が風で揺れるたび歓声を上げて見えています。みんなの願い事がかないますように…。

下段写真 毎年自分たちで夏野菜の苗を買って植えています。今年も子ども達の選んだ苗が園庭ですくすく育っています。いつもカラスに狙われてしまつとウモロコシには今年のみんで作戦を練って対策をしました。収穫時期を迎えて毎日とれる野菜に大喜びです。

町議会広報研修会に参加



6月30日、県自治会館で、議会広報研修会が開かれました。研修は、(株)月刊総務の豊田健一氏が「読者目線で親切的な広報誌を作るには」をテーマに講演されました。今後は、研修会で得たものを取り入れ「えちぜん議会だより」のより良い紙面づくりを目指します。

自治監査功労賞受賞



5月19日、県自治会館で県監査委員連絡協議会が開かれ、木村繁議員が自治監査功労賞を受賞されました。地方自治監査の発展に大きな役割を果たされたことに敬意を表します。

議会を見学しての感想

- 議会は、越前町のことを心配してくれています。とてもありがたいと思いました。
- 越前町の木や越前焼で作られています。すごいいいと思いました。

- 見学をして、ばくも将来役場で働きたいです。また見学に行つて色々なことを知りたいです。
- 議場に机など色々なものがあるのにはびっくりしました。

皆さんのご紹介を
願います

私たち「PEEPS」は、当時越前町にキッズダンス教室がなく、子どもたちが放課後楽しくダンスレッスンができる場所として、2019年11月に、結成しました。現在は、7歳から12歳までの15名で活動しています。



Interview activities

活動内容について
教えてください

毎週木曜日の午後5時30分から午後6時30分まで、越前町生涯学習センターで楽しく練習しています。毎年、芸能祭やお祭りなど地域のイベントに参加しています。ダンスをとおして自分を表現し、人に伝えることの楽しさや音楽に合わせてチームが一つになった時の喜びを感じ、心豊かに成長していくことを目的としています。



最後に一言お願いします

まだまだステージ上では緊張しますが、少しずつ自分の殻を破り、みんなで楽しんでいきたいと思えます。体が弾めば心も弾む。一緒に踊りましょう。

(インタビューー 長谷川)

お問い合わせ

位寄 絵里子
090-6275-2323

傍聴席へどうぞ 次の定例会は9月です

(日程については、議会事務局にお問い合わせください) TEL.0778-34-8712

編集後記

この度、議会広報特別委員長の大役を承り、越前町および越前町民の福祉向上と越前町議会の発展のためにしっかりと貢献させていただく所存です。そして、皆様方お一人お一人は、すばらしい越前町を創っていくという重要な役割を担っているのです。自分達の人生をハッピーにする、越前町を大きく進化させるといふ大きな役割を担い、足あとを残しているのです。未来のビジョンを夢みて行動を開始しましょう。今、一年の中でも最も美しい季節です。田んぼには、稲が植えられ、山には緑が豊かに繁り、野原や庭には美しい花々が入れ替わりたち替わり咲き出しています。そして、何といっても海水浴が楽しいですね。自然に恵まれた越前町を大切に守っていききたいですね。

(長谷川)

議会広報特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 長谷川 真恵 |
| 副委員長 | 中西 清 |
| 委員 | 木村 繁 |
| | 米沢 康彦 |
| | 藤野 菊信 |
| | 高田 浩樹 |
| | 小松 宏 |



バックナンバーは町のホームページでご覧いただけます

<http://www.town.echizen.fukui.jp/chousei/04/index.html>



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です